

九 せ み i n O K I N A W A ニ ュ ー ス v o l 1

2016/11/12



人間らしく働くための九州セミナーin 沖縄

「子供の貧困から見える親の働かされ方・働き方」

ごあいさつ

現地実行委員長 高嶺朝広



「めんそーれ沖縄」、九州各地から沖縄に来ていただきましたこと、セミナーの現地実行委員会を代表しまして心から歓迎と感謝をいたします。

さて子供の貧困が社会問題としてクローズアップされ、様々な取り組みが始まろうとしています。しかし子どもの貧困は親の貧困が原因です。人間らしく働くことのできる社会をつくるのが、子どもが未来に夢を持って輝いて生きるために大切なことだと思います。

沖縄の子どもの貧困率は29.9%と全国一位です。沖縄経済の最大の阻害要因は米軍基地です。沖縄において親の貧困・子どもの貧困の最大の要因は、日本的雇用慣行の崩壊による非正規雇用の爆発的な増加とともに米軍基地

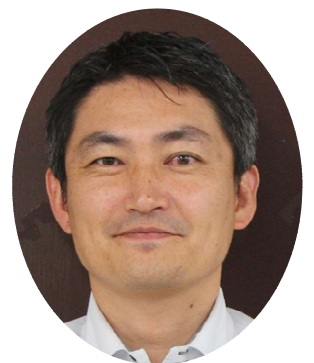
にあると考えております。初日のメイン会場のフロアーでは辺野古・高江の基地問題の写真展もあります。是非、平和と子どもたちの未来をつくために闘っている沖縄県民の姿を見ていただければと考え企画させていただきました。これから2日間、共に学び議論し交流を深め、子どもたちの未来を輝くものとするため人間らしく働ける社会をつくっていきましょう。

待っちゃーたんどー(^^) / 現地実行委員会事務局長 後藤勝治



8年ぶり沖縄開催となります。おかえりなさい、九州セミナー。今年は沖縄労働局、沖縄県の後援を頂いての開催となりました。記念講演、パネルディスカッションとも準備万端。分科会もたくさんさんのエントリーを頂きました。

”子どもの貧困“から労働問題を考えていきましょう！



人間らしく働くための九州セミナーin沖縄現地実行委員会

〒900-0024 那覇市古波蔵4-10-53 健康企画ビル3F TEL 098-833-3397 FAX 098-833-3398 E-mail okisemi27@gmail.com URL <http://kyusemi.jp/>



九州の皆さん、めんそーれー

人間らしく働くための九州セミナー i n 沖縄 現地実行委員会



子どもたちの**明日**のために

大いに議論しましょう！



さあ舞台は整いました。



九セミ in OKINAWA ニュース vol.2

2016/11/12



九州・沖縄から312名が集い盛大に開催！



8年ぶりに沖縄での開催となった第27回人間らしく働くための九州セミナーが那覇市の「ていりる」において、九州各県および県内から312名が参加して盛大に幕を開けました。開会あいさつで、同セミナーの代表世話人会議長の田村昭彦（九州社会医学研

記念講演

子どもの貧困からみえてきた労働の問題を考える

浅井 春夫 氏（立教大学教授）



今回の九州セミナーでは、子どもの貧困問題に詳しい立教大学コミュニティ福祉学部の浅井教授をお招きして、基本コンセプトに沿った基調講演を行いました。

講演で、今日の労働問題を検討してみると、「労働の非人間化」の進行によって労働市場から排除されている労働者が確実に増え、ますます厳しくなる仕事に目的を見

失い苦しめられてる現実が広がっていると指摘。子どもの貧困の根本問題としての労働問題の解決抜きに改善はありえないとし、人間的な働き方の追求が問われていると述べました。人間が生きていく上での困難を、政治が改善・緩和・解決できていないだけでなく、むしろ貧困と不安を増幅している現実が露わになっているのが実際だと述べ、子どもの貧困をなくしていくために必要なことは、行政と住民の本気度であるとして参加者に奮闘を訴えました。



代表世話人会議長 田村昭彦

研究所長）が電通社員の過労死問題をあげ、国の進めようとしている「働き方改革」の危険性を訴えながら「今こそ職場における健康文化を構築していく社会的なルールを創ることが待ったなしの課題だ」と述べ、二日間の学習・交流の成果に期待を寄せました。

人間らしく働くための九州セミナーin沖縄現地実行委員会

〒900-0024 那覇市古波蔵4-10-53 健康企画ビル3F TEL 098-833-3397 FAX 098-833-3398 E-mail okisemi27@gmail.com URL <http://kyusemi.jp/>

パネルディスカッション 子どもの貧困から見える、親の働かせ方・働き方



雨積涼子さん



木本邦広さん



秋吉晴子さん



嶺間真一さん



島袋隆志さん

★★★ パネラーのみなさん ★★★

医療の現場から・・・雨積涼子（沖縄協同病院 小児科医師）

学校の現場から・・・木本邦広（沖縄県教職員組合那覇支部 執行委員長）

母子家庭の現場から・・・秋吉晴子（しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄 代表）

労働の現場から・・・嶺間信一（沖縄県労働組合総連合 事務局長）

労働研究の現場から・・・島袋隆志（沖縄大学法経学科 准教授）

◆コーディネーター 田村昭彦（九州社会医学研究所 所長）



セミナー初日の最後にはパネルディスカッションが行われ、5名のパネラーのそれぞれの立場から「子どもの貧困」に関する報告と討論が行われました。

ディスカッションは、田村議長のコーディネートにより進められ、まず子どもの貧困の実態を各パネラーからリアルに報告された後、その問題点を掘り下げ「子どもの貧困」の背景にある「親」の働かせ方・働き方についての検討、そして討論の最終段では、「子どもの貧困」をなくす取り組みを進めていくためには、どのようなことが必要か各パネラーから実効性の期待される意見が挙げられました。

会場の参加者も積極的に討論に参加するなど、「子どもの貧困」対策を九州セミナー全体で真剣に取り組んでいく大変に有意義なパネルディスカッションでした。

九セミ in OKINAWA ニュース vol 3

2016/11/13



労働環境を自ら変えるため ワークルールを学ぶ



「働くルール」を学ぶワーク・ショップが沖縄大学本館で開催されました。沖縄労働局の福永総務部長から、当局が実施した「アルバイトなどで就労する若者へのアンケート」調査で、若者のワークルールへの理解度についての報告や、沖大サークル「なないろ」による若者の働き方にかんする事例報告がされました。

ワークショップ in
沖縄大学キャンパス

テーマ別分科会



第1分科会：メンタルヘルス（演題 9）



第2分科会：職場・地域の労働安全衛生活動（演題 10）



第3分科会：公務労働者の労働安全衛生活動（演題 6）

第4分科会：じん肺・アスベスト（演題 8）



第5分科会：ノーリフト・振動病（演題 9）



第6分科会：子どもの貧困（演題 7）



第7分科会：働く人の貧困 I（演題 8）



第8分科会：働く人の貧困 II（演題 8）



人間らしく働くための九州セミナーin沖縄現地実行委員会

1日目終了後、セミナー会場「ているる」のお隣にあるパシフィックホテルにおいて交流会が盛大に開催されました。琉球舞踊や民謡、若者たちによるエイサーが披露され、沖縄の芸能文化に触れながら沖縄料理に舌鼓、泡盛を酌み交わし1年ぶりの再会を楽しんでいました。

